

令和元(2019)年 11 月 6 日

保護者の皆様

豊能町立光風台小学校

校長 増田 ゆか

「平成 31 年度全国学力・学習状況調査」結果および今後の取り組みについて

秋冷の心地よい季節、保護者の皆様にはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、本校の教育推進にご理解・ご協力を賜り心より感謝申し上げます。さて、本年度4月に本校6年生に実施いたしました「平成31年度全国学力・学習状況調査」の概況について、分析結果をまとめましたので、お知らせ致します。

調査内容は国語、算数（今年度よりA「主として知識」、B「主として活用」を一体化して実施）と児童質問紙（生活習慣や学習に対する意識等）で、調査問題、分析結果等の内容は国立教育政策研究所のHP、豊能町の結果概要との取組み等は町のHPで公表されておりますので、併せてご覧ください。

本校の結果ですが、国語、算数の平均正答率は、二教科とも大阪府、全国平均を上回りました。ただし、この調査で得られる結果は学力の一部です。母数の少ない本校では、この調査結果を一人ひとりの児童の課題分析に活用し、授業改善に取り組んでいきたいと思っております。

■ 学力調査の結果（○…相当数の児童ができている点 ●課題のある点）

【国語】

◎「言語についての知識・理解・技能」以外の観点で全国平均を上回る結果でした。

◎特に「読む」領域において、10ポイント以上全国平均を上回りました。

○目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む **2一(1)(2)**

○目的に応じて、本や文章延滞を概観して効果的に読む **2二**

○話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる **3三**

●学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う **1四(1)アウ**

・「調査のたいしょう（対象）」・「かんしん（関心）」をもってもらいたい

*誤答例「対象」⇒「対称」「対照」 「関心」⇒「感心」（同音異義語）

●文と文との意味のつながりを考えながら、接続語をつかって内容を分けて書く **1四(2)**

*誤答例⇒長い一文を区切る場所、意味のつながりや文末表現が考えられていない。（次頁参照）



- ・漢字を、日常生活において積極的に文や文章の中で使わせる。
- ・指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し、使えるような学習場面を設定する。

【算数A】

◎すべての領域の平均正答率で大阪府、全国平均をともに上回る結果でした。

◎「量と測定」の領域において、10ポイント以上全国平均を上回りました。

○台形について理解している **1 (1)**

○資料の得量や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる **2 (3)**

○場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断できる **4 (3)**

*相当数の児童が1ポール分あたりにかかる時間を求める式や言葉と7ポール分進むのにかかる時間を求める式や言葉の両方を書いて説明できていました。

●加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる **2 (4)**

●示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる **3 (2)**

*無解答率は全国平均に比べて7.2ポイント低く、ほとんどの児童が何らかを解答しようとしたことがうかがえます。分かっている、割られる数と割る数に同じ数をかけることを表す言葉、割られる数と割る数に同じ数を割ることを表す言葉のどちらも書けてない、具体的な数字のみを書いて、その意味が書かれていないなど、不十分な解答がいずれも1割ほどありました。

算数の言葉を用いて記述することに課題があることが分かりました。(次頁参照)

ポイント

- ・小数の四則計算について理解し、四則の混合した式や()を用いた式について、正しく計算できる力をつけるよう学習活動を充実させる。
- ・除法の式の意味を理解できるような授業、算数養護を用いて記述する授業を展開する。

■ 学習状況調査(児童質問紙)の結果

(😊 …肯定的回答が多い良い傾向の項目 😞 …肯定的回答が少なく課題といえる項目)

①学校生活について (いずれの項目も全国より10ポイント以上上回りました)



- ・人が困っているときは、進んで助けている。
- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
- ・学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。

全児童がいじめは何があってもいけないと回答していました。また、困っている人を進んで助けるなど、行動に出せる児童もたくさんいます。学習集団づくりの一定の成果が見える結果でした。ただ、いじめ事象がないわけではありません。小さなトラブルを見逃さず、丁寧に指導していきます。

ポイント

- ・学校の教育活動全体で丁寧に指導し、引き続き規範意識の醸成に努める。
- ・実感を伴う人権教育を一層すすめる。

②学習について (いずれの項目も全国より10ポイント以上上回りました)

国語や算数の学習が好きで、また、社会に出たときの有用性も感じていることがわかりました。そして、学んだことを、普段の生活の中で生かせないか、もっと簡単に解く方法はないかと前向きに試行錯誤しようとする姿勢があることもわかりました。学習に対し、肯定的な気持ちが強いことは大変喜ばしいことです。例年、否定的な意見も必ず上がるのですが、今年度においては、ありませんでした。子どもたちの前向きな気持ちを大切に、これからも主体的な学びを大切に学習活動を行っていきたいと思います。



- ・国語や算数の勉強が好き
- ・国語や算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う
- ・国語や算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で、活用しようとする
- ・国語の文章で解答を書く問題では、全ての問題で最後まで解こうと努力した
- ・算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える。
- ・授業で学んだことを、ほかの学習に生かしている
- ・総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる
- ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる
- ・5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う
- ・授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいと思う

③生活の様子について

★ 自尊感情や自己肯定感



- ・将来の夢や目標を持っている
- ・難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している



- ・自分には、よいところがあると思う

将来の夢や目標を持ち、日々生活ができていることは大変素晴らしいことです。また、昨年度から取り組んでいた、困難なことに対し失敗を恐れず挑戦する姿勢が芽生えてきたことに喜びを感じます。

自己肯定感の肯定的な意見は、全国平均とほぼ横ばいですが、強い肯定的な意見が全国より10ポイント近く下回っています。「自信を持ち、自分自身を大切だと思えるようにほめる、認める」「お互いの良いところを認め合う場面を作る」指導を大切にしていける必要があります。

★ 読書や家庭学習



- ・家で、自分で計画を立てて勉強している
- ・学校の授業時間以外に、平日に1時間以上の読書をする
- ・休休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館や地域の図書館に週に1～3回以上行く。
- ・読書が好き
- ・新聞を読んでいる

家庭でも、自ら時間管理を行いながら、計画的に学習に励んでいることがわかります。自学習など、今後も継続して声掛けをしていきます。読書においては、読書が好きで、習慣化されていることがわかります。日々の生活の中に、自然と読書に取り組む姿があることは大変喜ばしいことです。また、新聞を読んでいる児童は全国平均より31ポイントも高かったです。読書や新聞を読むことは、知識を増やし、心を育むことにつながります。今後も、子どもたちの主体的な読書に対する姿勢を大切にしながら指導をしていきます。

★ 家庭での過ごし方



- ・毎日朝食を食べる、毎日同じくらいの時刻に寝て同じくらいの時刻に起きる
- ・家の人と学校の出来事について話をしている

基本的な生活習慣を整えていただいていることがとてもよくわかる結果でした。ご家庭で安心できる場を作ってくださいすることで、学校生活での安定に繋がっていると感じます。

★ 地域との関わり



- ・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある
- ・今住んでいる地域の行事に参加している

自分たちの地域を愛し、地域をよくしていこうとする前向きな気持ちを感じました。また、積極的に地域の行事に参加していることも読み取れました。今後も、保護者と連携しながら主体的に地域社会に参画していく態度を養うための取り組みをいっそう進めていきます。

■ 今後に向けて

以上のとおり、特徴的な項目のみを取り上げて報告いたしました。学習面では基礎的な知識を実際の生活で生かせるよう、活用する場面を多く作っていく必要があること、その教科特有の用語を使って論理的に説明する機会を多く作る必要があることが分かりました。生活面では落ち着いて生活していること、地域や家庭のご協力に支えられていることがよく分かる結果でした。この結果を真摯に受け止め、課題については全職員で共有します。

引き続き児童にとって安全で安心な学校、学ぶことが楽しくてたまらない学校をめざして、ご家庭や地域のみなさまと連携しながら取り組みを進めていきたいと存じます。今後とも、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

【算数】 3 (2)

ともやさんは、 $421 - 298$ や $600 - 201$ のようなくり下がりのあるひき算について、次のように計算しやすい式にして考えました。

【ともやさんの計算の仕方】

$$\begin{array}{r} 421 - 298 = \square \\ \downarrow +2 \quad \downarrow +2 \\ 423 - 300 = 123 \end{array} \quad \begin{array}{l} \curvearrowright \\ \text{変わらない} \end{array}$$

だから、 $421 - 298$ の答えの \square は、123 です。

$$\begin{array}{r} 600 - 201 = \square \\ \downarrow -1 \quad \downarrow -1 \\ 599 - 200 = 399 \end{array} \quad \begin{array}{l} \curvearrowright \\ \text{変わらない} \end{array}$$

だから、 $600 - 201$ の答えの \square は、399 です。



【ともやさんの計算の仕方】を見ると、ひき算では、ひかれる数とひく数に同じ数をたしても、ひかれる数とひく数から同じ数をひいても、差は変わらないのですね。

ゆいさんは、くり下がりのあるひき算を計算したときにもとにした考えをふり返って、次のようにまどめました。

【ゆいさんがまどめたこと】

ひき算では、
ひかれる数とひく数に同じ数をたしても、
ひかれる数とひく数から同じ数をひいても、
差は変わりません。
このことを使うと、計算しやすいひき算の式で考えることができます。

ことねさんは、 $400 + 25$ や $90 + 18$ のようなわり算についても、計算しやすい式にすることができると思い、下のように考えました。

【ことねさんの計算の仕方】

$$\begin{array}{r} 400 + 25 = \square \\ \downarrow \times 4 \quad \downarrow \times 4 \\ 1600 + 100 = 16 \end{array} \quad \begin{array}{l} \curvearrowright \\ \text{変わらない} \end{array}$$

だから、 $400 + 25$ の答えの \square は、16 です。

$$\begin{array}{r} 90 + 18 = \square \\ \downarrow +9 \quad \downarrow +9 \\ 10 + 2 = 5 \end{array} \quad \begin{array}{l} \curvearrowright \\ \text{変わらない} \end{array}$$

だから、 $90 + 18$ の答えの \square は、5 です。

【国語】 1四 (2)

(2)

高橋さんは、読み手に伝わりやすくするために、「報告する文章」の文に分けて書き直すことにしました。文と文とをつなぐ言葉には「そこで」を使います。書き直した一文目の終わりの五文字と、二文目の「そこで」に続く五文字を書きましよう。なお、読点(、)も字数にふくみます。

公衆電話を必要に応じて使うことができるようにするためには、どのような場所に設置されているのかを前もって知っておくことが大切だと思ったので、わたしは、公衆電話の設置場所を確かめてみることにしました。

※解答は、解答用紙に書きましよう。
。そこで、

(2) ひき算について書かれた【ゆいさんがまどめたこと】と同じように、わり算についても、【ことねさんの計算の仕方】をもとにまどめると、どのようになりますか。

下の□の中、「わられる数」、「わる数」、「商」の3つの言葉を使って書きましよう。

わり算では、

※ 解答は、すべて解答用紙に書きましよう。

このことを使うと、計算しやすいわり算の式で考えることができます。